

記者発表資料



オーストリア体感ブース

提供年月日 令和4年(2022年)4月25日
部局名 文化スポーツ部
所属名 文化芸術振興課 総務係
担当者名 村田、永井
電話 077-528-3341 (内線3341)
E-mail sc00@pref.shiga.lg.jp

問合せ先 公益財団法人びわ湖芸術文化財団
所属名 法人本部営業部/びわ湖ホール事業部
担当者名 川越/西野
電話 077-523-7140/077-523-7150
E-mail sales@biwako-arts.or.jp
project@biwako-hall.or.jp

「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022」 オーストリア体感ブース について

「琵琶湖とオーストリアは控えめに言って瓜二つだと思います。」

昨年、7月1日の「びわ湖の日」をきっかけにオーストリア政府観光局によってツイートされた一言が大きな反響を呼び、オーストリアと滋賀県が交流を深めています。

今回の音楽祭では、オーストリア政府観光局の全面的なご協力のもと、滋賀県観光振興局、公益社団法人びわこビズターズビューローとともに「オーストリア体感ブース」を設けることとなりました。

「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」の公演チケットをお持ちでない方でも、どなたでも無料で入場いただけます!

【概要】

オーストリアは、「音楽の都」ウィーンを首都とし、クラシック音楽の名だたる作曲家が活躍しました。今回の音楽祭でも、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、レハールら、ゆかりの作曲家の曲が演奏されます。
オーストリアの風景写真や書籍の展示、飲食物や名品の物産展により、音楽だけでなく、オーストリアの歴史や文化を五感で楽しんでいただくブースを中ホールに展開します。

期間: 令和4年4月30日(土)・5月1日(日) いずれも10:00~18:30

(「音楽祭」の前日祭の4月29日(金・祝)は開催していません。)

会場: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール2階 中ホールホワイエ 等

(中ホールはお客様の休憩スペースとして無料開放しています。)

◆中ホール入口では、垂れ幕や美しい観光ポスターがお出迎え!

①中ホール客席では、大スクリーンにてオーストリアのPR動画(約34分)を繰り返し上映します!

②オーストリア政府観光局によるオーストリア観光情報コーナーを設置

③ホワイエでは、オーストリアの魅力伝える展示コーナーや、物販コーナーを展開!

(食べ物: ハム・チーズ・ソーセージ、パン・お菓子、はちみつ・ジャム 等

飲み物: ジュース、ワイン、ビール 等

名品等: スノードーム、雑貨、書籍 等 ※いずれも予定)

◆いつか、オーストリアへ旅したくなること間違いなし!

<参考>

「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022」

会期:令和4年4月29日(金・祝)・4月30日(土)・5月1日(日) ※4月29日は前日祭
会場:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール・小ホール

2018年にスタートし、今年4回目となる「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」。(2020年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)

ゴールデンウィークの風物詩となっている音楽祭ですが、芸術監督・沼尻竜典プロデュースとしては最後となります。

今年のテーマは、カタラーニ作曲 歌劇『ワリー』より「さようなら、故郷の家よ」。

春が訪れるたびに、いつでも帰ることのできる家でありたいという意味を込めて、今年14公演を開催します。



● 3年ぶりに「オーケストラ公演」が帰ってくる！

京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団が音楽祭のステージに帰ってきます。沼尻竜典はもとより、日本を代表する指揮者がタクトを振り、ソプラノの砂川涼子、ピアノの小山実稚恵、牛田智大という豪華ソリスト陣が共演します。



沼尻竜典

● オペラの殿堂ならではの声の饗宴が楽しめる！

音楽祭の魅力の一つは、溢れる歌。びわ湖ホールお馴染みの砂川涼子は、オープニングコンサートで、テーマの「さようなら、故郷の家よ」を歌います。また、晴 雅彦や、宮里直樹、伊藤 晴といった日本のオペラシーンで活躍する歌手たちが得意曲を披露。その歌を最大限に盛り上げる巨匠ピアニスト・河原忠之との共演も聴きどころです。さらに、富平安希子と沼尻竜典による「0歳児からのコンサート」は、赤ちゃん連れのご家族にも楽しんでいただけます。もちろん、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声も聴き逃せません。

● 新鋭と円熟、器楽奏者にも注目

ショパンのオリジナリティを作曲当時の楽器で復活演奏して話題の川口成彦(フォルテピアノ)、古楽器とモダン楽器を自在に使いこなす上村文乃(チェロ)、チャイコフスキー国際コンクール木管楽器部門で第3位のイタリアの名手アレッサンドロ・ベヴェラリ(クラリネット)などの新鋭。また、去年の音楽祭にも出演した児玉麻里(ピアノ)はベートーヴェン「傑作の森」の第2弾を。円熟を深める戸田弥生(ヴァイオリン)と清水和音(ピアノ)の二重奏も注目ください。

● 最終公演は華やかな「グランド・フィナーレ」

最終公演では、音楽祭をプロデュースする沼尻竜典が司会も務め、大阪フィル、チェロの上村文乃、ソプラノの伊藤 晴、富平安希子、バリトンの晴 雅彦、テノールの宮里直樹、びわ湖ホール声楽アンサンブルが、華やかなフィナーレを飾ります。